

## 各団体からの意見・市への提案

伊勢崎造園事業協同組合

代表理事 浅野 正史 様

### 【意見】

伊勢崎造園事業協同組合は、伊勢崎市と協定を結び、空家等の樹木、竹、雑草等の適切な管理を行っています。空き家の庭木については苦情が出てからの対応となりますが、所有者が遠方に居住している場合など現地での立会いが進まない事例も見受けられます。依頼される作業は、どこまで進めるべきか、必ず作業してほしい内容など、細かな作業を含め、見積もりを算出する段階で時間を要します。あわせて、樹木の手入れの程度や規模により大型作業車が必要になり、状況にもよりますが100万円単位での仕事になることもあります。こうした場合、費用捻出が難しく対応が遅れてしまうケースも見受けられます。

また、一時的に苦情の範囲だけの作業を行ったとしても、一年、二年経過すると樹木が伸びてしまい、作業をするため何度も足を運ぶということもあります。空き家に関しては、50件以上の作業を行ってきましたが、相談・見積もりはそれ以上あります。相談から実施までに時間を要すと、樹木が大きくなり当初の見積もり額よりも費用がかかり、対応しなくてもできない方が多いのが現状です。作業後に費用を円滑に回収できない事例があったことも問題のひとつです。

樹木の手入れについては、早めに対応することが費用を抑えるひとつの手段として考えられます。

早めの段階であれば、組合から提案ができます。持ち主が早めに対応できるような案内を作成し指導していただきたいと思います。

### 【市への提案】

- ・ 苦情が出る前に作業ができる体制づくりに向け、早い段階で空き家の所有者へ樹木管理の案内を送付する